

鍋横かわら版

発行：鍋横区民活動センター運営委員会
〒164-0012 中野区本町5-47-13
TEL：03-3383-2733 FAX：03-3383-2734
メール：nakano_nabeyoko@chic.ocn.ne.jp
HP：http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp



い
一年中
花がたえない
杉山公園

ことぶき鍋横会有志が1年を通して杉山公園の花壇の手入れをしていることを、かるとで知ってほしいと思います。(高橋)
杉山公園の花壇の絵は現在描いているところなので、これは写真です。(増淵)



か
菅原道真公を祀る
西町天神
学問の神



北野神社西町天神の境内の入り口にある大銀杏は昭和54年の台風で倒れ、地域の人たちが費用を出し合っで蘇生しました。

まちを描いてまちを知る

なべよこかるた

と
都会の
オアシス
本五ふれあい公園

2016年に開園した本五ふれあい公園。公園面積は11,924㎡(うちスポーツ広場約4,400㎡)、子どもの日前後は手作りこいのぼりが見られます。



『なべよこかるた』にしたい絵や文を募集します。

鍋横地域の中で好きな場所、面白い場所、これからも残しておきたい場所、歴史など、皆さんに知ってほしい場所や活動を絵や文(どちらかでもいいです)でかるたにしてみましょう。

来年のお正月にはみんなでかるた大会ができるといいですね。

<応募方法>

絵や文を鍋横区民活動センター運営委員会事務局(鍋横区民活動センター1階)に持参または送付してください。詳細は03-3383-2733まで

かるた

語源はポルトガル語の carta。日本での同様の遊戯である平安時代の「貝覆い」「貝合わせ」とヨーロッパ由来のカードゲームが融合し、元禄時代頃に今日の遊び方になったようです。江戸時代に木版画が普及すると『いろはかるた』や『百人一首かるた』など絵入りのかるたの形態で広まり、庶民も楽しめるようになりました。



鍋横地区まつりで展示された『なべよこかるた』



※1 中野区が主催し、原則55歳以上の区民対象に中野の歴史や地域活動に向けた知識や技術を学ぶ多彩な講座により仲間づくりを進める。毎年5月から開講し、進級制で3年間学習できる。

※2 なかの生涯学習大学の卒業生と在校生で組織し、鍋横地域で自主的な学びや地域活動を続けている。



『なべよこかるた』を作り始めた増淵さんと高橋さんにインタビュー！



増淵和男さん



高橋克己さん

Q.なべよこかるたを作ろうと思ったきっかけは？

なかの生涯学習大学(※1)で「街を描いて街を知る」取り組みを知り、仲間と一緒に「街を描こうグループ弥生」の水彩画教室で指導を受け、作品を描き始めました。昨年の鍋横地区まつりの文化祭のことぶき鍋横会(※2)の展示で「成願寺」と「杉山公園」の水彩画を出展する際に絵の解説をかるたの読み札にしたのが始まりです。

Q.お二人が知り合ったのは？

なかの生涯学習大学です。そこで中野を知り、鍋横地区のことぶき鍋横会に入会して鍋横を知りました。ここで友人がたくさん出来、楽しく地域活動に参加しています。

Q.作り始めて感じていることは？

鍋横に30年以上住んでいても知らない場所がたくさんあり、あらためて発見することが多いです。この鍋横を皆さんにもっと知ってもらいたい、紹介したいと考えながら作っています。

Q.これからやりたいことは？

「あ」～「ん」まで46文字を二人で作るのはなかなか時間がかかります。早く完成させて子どもたちと一緒にかるた会をやりたいです。この機会に皆さんにもぜひ一緒に作ってもらい、完成したかるたで遊んで、かるたで鍋横を知ってもらえたら嬉しいです。

